

平成 29 年度 あおいとり日野 就労継続 B 型 事業計画

- ・あおいとり日野（平山）：日野市東平山三丁目 1 番 27
- ・出張所：サン・3・ショップ南平店 日野市南平九丁目 38 番 20
サン・3・ショップ高幡店 日野市高幡 145

○サービス事業 就労継続支援 B 型（開所日数：250 日）

1、利用定員(現員) 10 名 (11 名)

2、職員配置（利用者数:職員数）(7.5 : 1)

3、事業開始 年月日 平成 19 年 4 月 1 日

4、事業運営基本計画

(1) 拠点変更に伴う新たな事業運営計画

イ、区画整理により東平山建屋の周辺道路状況を考慮し、物理的な配慮として、生活介護利用者の拠点を東平山の建屋 2 階と上田に分けたため、就労継続 B 型利用者は東平山 3 階を拠点とする

ロ、送迎を廃止し、『自分で通う』という新たな社会参加のプログラムを取り入れ、社会参画に見合った工賃を支払うようにする

(2) 基本計画

イ、利用者の人権を尊重し自己選択、自己決定を重んじ仕事を通して社会参加や自己実現を図り喜びのある『生きがいのある暮らし』を提供する

ロ、利用者がお互いに就労の意欲や情報を共有し切磋琢磨し合える環境作りを図る

ハ、利用者やご家族の『ニーズ』を組み入れながらそれぞれの『人柄や能力』に応じ個別支援計画を作成し支援、管理する

ニ、リサイクルショップ事業を通して利用者の持ち味である誠実、丁寧さなどが発揮できる様に支援する

ホ、『ケアホームあおいとり』との連携を密に地域の中で継続的に安心して暮らすための支援を提供する

*上記のことを踏まえながら『生きがいの場』として能力の発揮や向上を支援し『働く喜び』など充実した日中活動を構築する

5、サービスの内容

イ、作業支援

○働くこと…もっている力を目的的に発揮し意欲や自信に繋げる

- ・作業スケジュールを明確に提示（個別のスケジュール表、月間予定表等の活用）
- ・定期的評価（意欲の喚起、課題の自覚喚起）

- ・実績を形にする（自己点検記録）
- 社会性、協調性の向上・・・好ましい人間関係を築く
 - ・仲間関係の活用（嬉しいこと大変なことを共有し合いお互い高め合うチーム力を高める）
 - ・ショップの店番の活用
（社会参加の場として相手『お客様』に合わせる体験を積む・定期的評価を組み入れる）

ロ、その他の支援

- 健康面の維持・管理（体を動かす作業種をバランスよく取り入れる）
- 金銭の使用、管理の手伝い（利用者のニーズに応える）
- 余暇活動（基本的に自己選択で楽しい経験を通して仲間どうしの交流を図る）

6、就労活動の内容

イ、工賃を高める、『きちんと』働く、地域に根ざす、これらのことが利用者満足（知る楽しさ、分る楽しさ、できる楽しさを味わう）につながる支援を軸とする

リサイクルショップ事業			
今年度の目標		<ul style="list-style-type: none"> ●作業部門の担当及びスケジュールを明確に提示し利用者が分かって行動できる仕組みを活用しシステムを作る ●各箇所との連携、協力体制を強化する（マニュアル作成） ●地域とのつながりを深める（イベントや商品管理の側面に社会貢献の流れをつくる） ●高幡店のショップシフトをレベルアップの場と位置付ける ●目標工賃：平均月給：21,800円 	
場 所		作 業 内 容	
東平山		拠点	
南平店	フロア …3名	フロア担当	バックヤード担当
	バックヤード …4名	①開店準備（つり銭準備・品出し） ②接客担当（レジ・袋入れ・レジ周り整備） ③整備担当（店内清掃・ガラス拭き・店内整備・値付け・品出し）	①商品整備と管理・値段付け ②周辺作業（チラシ作り・チラシ配り・お礼状書き・地域の清掃等）
高幡店	フロア …2名	自己点検記録（スマイルノート）	
	バックヤード …1名		
市の売店		・実習を通して就労のスキルを上げる	

7、活動プログラム

イ、日中活動プログラム

時間	一日の流れ
9:30	受け入れ（身支度）・体操・朝のミーティング
10:00	作業
12:00	昼食・休憩
13:00	作業
15:00～	ティータイム・清掃・評価（チャレンジ会）・ 身支度・帰りのミーティング
16:00	帰宅

*金曜日は月 1 回の音楽リハビリもしくは 3B 体操（希望参加）

ロ、年間活動

月	年間行事	定期プログラム
4	入所式	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽リハビリ（月 1 回希望参加） ・3B 体操（月 1 回希望参加） ・刺しゅう指導（月 2 回） ・環境整備（月 1 回） ・防災訓練（年 6 回） ・嘱託医巡回（隔月 1 回） ・予防接種（年 1 回） ・土曜プログラム（年 4 回・就労継続 B のみ、家族会と連動する）
6	健康診断	
8	夏休暇	
9	宿泊旅行	
10	運動会 青い鳥バザー	
12	クリスマス会（就労 B のみ） 冬休暇	
3	納会	

・詳細は年間予定表を参照

○宿泊旅行は 2 年間取り組んだ土曜プログラムの成果として、生活介護と分けてプログラムする

8、健康衛生管理

イ、利用者の健康状態に気を配りながら、生活習慣病や肥満の予防対策等留意する

○健康の日（嘱託医による巡回相談の事前のミーティング）

○嘱託医による巡回相談（隔月 1 回）、体重測定

○健康診断、保健師による口腔ケア指導（年 1 回）

○健康的な食事を提供する

○歯磨き指導（歯磨きチェック）

ロ、衛生管理

○施設内外整理整頓、清掃、消毒等の衛生管理に努めマニュアルを活用する

○食前及び作業前後における消毒石鹸による手洗いやうがいの励行

○タオル等の共有は避ける

○食品を扱う利用者及び職員は法廷義務を守る。保健所等の研修を受講する

9、家族との連携

- イ、共通認識に立って進められるように連携を密にして進める
 - 家族会の開催を土曜日にし、土曜日プログラムと連動する
 - 個別面談
 - 担当制の活用
 - 連絡帳及び配布物の活用

10、親の会との連携

- イ、親のニーズや情報を把握し地域に根ざした継続的な支援を展開する
 - 共催バザー及び親の会総会、親の会役員会、勉強会等諸会議への参画

11、地域との連携

- イ、地域とのつながり及び社会貢献の側面を意識してネットワーク作りを進める
 - ボランティアの受け入れ（心得を作成）
 - 奉仕活動（赤い羽募金、歳末助け合い募金）、イベントに積極的に参加する
 - 地域の関係機関との会議やイベントへの参画に努める
 - 施設公開し地域との親睦を図り信頼を高める
 - 余暇活動及び行事に地域資源を活用する

12、職員研修（平成 29 年度研修計画作成）

- イ、職員研修計画に基づいて施設の適正な運営を図り、職員の資質向上のため系統的で効果的な研修を実施する
 - 施設内部研修
 - ・その時のニーズに応じたことをテーマに研修を実施する
 - ・週 1 回ケーススタディーを開催する
 - 施設外研修（各職員の意向に応じた研修及びキャリアパスに沿った研修）
 - 資格習得のための情報や時間を提供する
（主の研修先：日野市が開催する施設職員研修、東京都福祉人材センター、東京都社会福祉協議会、日本知的障害者福祉協会）

13、防災・防犯

- イ、防災防犯訓練を実施する。（予定回数 6 回） 実現に向けて年間計画を作成し、毎月の職員会議の定番の議案に掲げる。
- ロ、防災防犯会議（管理者会議の議題に盛り込む）をケアホームと連携して進める（あおいとり防災マニュアルの更新、防災用品、備品、備蓄等を整える）
 - 理事施設長、あおいとり日野管理者、ケアホーム青い鳥管理者、事務長で討議する

14、諸会議

- イ、管理者会議（月 1 回、必要に応じて随時開催）
 - 理事施設長、あおいとり日野管理者、ケアホーム青い鳥管理者、事務長が施設運営や支援の方針など事前に協議しケアホームとの連携を図る
- ロ、主任会議

- あおいとり日野管理者、主任が現場運営や支援等について報告、協議し、上位会議である管理者会議に提案する

ハ、合同職員会議

- 職員全体で施設運営全般について協議する
- 利用者支援全体及び、重要なケースについて協議し適正化・統一を図る
- 内部研修に活用する

ニ、朝の全体連絡会

- 当日の利用者及び利用の有無、シフトを確認
- 当日の支援、活動内容の確認し共通認識に立つ
- 当日の運営、管理事項を確認する
- 会議録を作成し各部署に周知する

ホ、振り返り会議

- 当日の利用者及び活動状況確認
- 翌日の利用者及び職員の予定を確認する
- ヒヤリっハッと報告及び対応策を周知する

ヘ、サービス支援会議（アセスメント、モニタリング、まとめ）

- 多面的なアセスメントから個別支援計画を作成し、実施したサービスを検証して利用者満足に繋げる。アセスメント、モニタリング、まとめは年間予定に組み入れて計画的、具体的に進められるシステムをつくる

ト、リスクマネジメント会議

- 毎月のヒヤリっハッと報告や事故報告をまとめて分析及び対応策の再確認し共通認識を図るイ、管理者会議（月1回、必要に応じて随時開催）
- 理事施設長、あおいとり日野管理者、ケアホーム青い鳥管理者、事務長が施設運営や支援の方針など事前に協議しケアホームとの連携を図る

15、第三者評価

- イ、第三者評価を平成29年度に実施予定

16、社会貢献

- イ、生活困窮者に社会復帰の場を提供する
- ロ、リサイクル品の活用（災害時などの無償提供）

17、資金計画

- イ、通常の運営経費は訓練等給付費収入でまかなう。